



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日野5丁目高齢者マンション新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県横浜市港南区日野5丁目36-1他	構造	RC造
用途地域	準工業、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年05月20日
敷地面積	886㎡	作成者	志村 玄三六
建築面積	397㎡	確認日	2021年01月27日
延床面積	1,616㎡	確認者	福本 嘉雄

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 87%

③上記+②以外の 87%

④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 4

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	特になし。
Q1 室内環境 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。 カーテン、バルコニーを組み合わせで制御。	Q2 サービス性能 住居の天井高2.5m以上。 (住居)階高:2.910m。 (事務所、物販店)【<2000m】 階高:3.600m。
Q3 室外環境(敷地内) 1) 建物高さ、壁面位置、外装・屋根・庇・開口部・塀等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。 2) 植栽をして良好な景観を形成している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して87%。
LR1 エネルギー BPlm=0.61。 非住宅部分のBEI:0.83。 住宅部分のBEI:0.73。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器など)などを用いている。 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



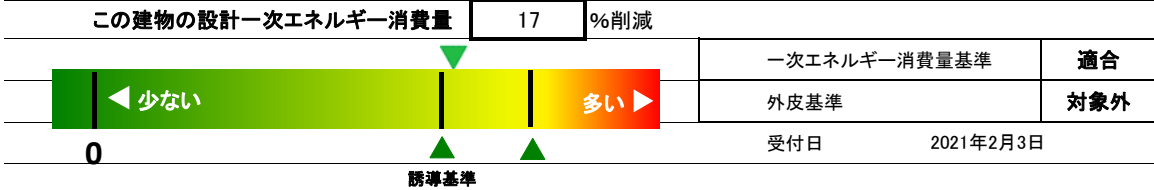
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)日野5丁目高齢者マンション新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①BPIm=0.61。
- ③非住宅部分のBEIm:0.83。住宅部分のBEI:0.73。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

- ⑪JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

- ⑯給水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VP相当)(B)、排水耐火被覆塩化ビニル二層管VP(B)、給湯用架橋ポリエチレン管(C)、Eは不使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入

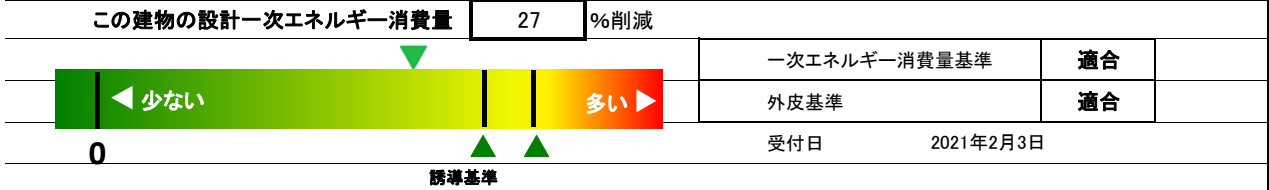


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)日野5丁目高齢者マンション新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①BPIm=0.61。
- ③非住宅部分のBEIm:0.83。住宅部分のBEI:0.73。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 4

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 あり

⑧自然材料:フローリング。

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰給水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VP相当)(B)、排水耐火被覆塩化ビニル二層管VP(B)、給湯用架橋ポリエチレン管(C)、Eは不使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	



CASBEE横浜2017年版v.1.7
(仮称)日野5丁目高齢者マンション新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.6
Q1 室内環境										2.9
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音				3.0	0.48	3.0	0.50			-
1.2 遮音				3.0	0.48	3.0	0.50			-
1 開口部遮音性能				3.0	0.99	3.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				3.0	0.01	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				3.0	0.03	-	-			-
2 温熱環境				2.2	0.35	2.7	1.00			2.6
2.1 室温制御				2.3	0.50	3.3	0.50			-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.60	3.0	0.63			-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.35	4.0	0.38			-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.05	-	-			-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20			-
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30			-
3 光・視環境				2.8	0.25	2.9	1.00			2.9
3.1 昼光利用				2.4	0.32	1.9	0.30			-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	0.53	2.0	0.50			-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	1.0	0.30			-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.47	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				3.0	0.26	4.0	0.30			-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度				3.0	0.13	3.0	0.15			-
3.4 照明制御				3.0	0.28	3.0	0.25			-
4 空気環境				3.2	0.25	3.6	1.00			3.4
4.1 発生源対策				4.0	0.58	4.0	0.63			-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				2.0	0.38	3.0	0.38			-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.49	3.0	0.33			-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気環境	5.0	0.01	5.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気環境	1.0	0.49	1.0	0.33			-
4.3 運用管理				4.0	0.03	-	-			-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	-	-			-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気環境	5.0	0.50	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.9
1 機能性				2.4	0.40	2.8	1.00			2.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60			-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.01	-	-			-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.01	3.0	1.00			-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.98	-	-			-
1.2 心理性・快適性				1.1	0.30	2.5	0.40			-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.05	4.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.05	-	-			-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.90	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.3	0.30	2.9	1.00			3.0
3.1 空間のゆとり				3.6	0.05	2.8	0.50			-
1 階高のゆとり				4.0	0.60	4.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	1.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.05	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.4	0.91	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				5.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				5.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)日野5丁目高齢者マンション新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり ⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり ⑫地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ ⑬敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5		
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.0		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能 ①建物の熱負荷抑制	4.1	0.20	-	-	4.1		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能 ②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能 ③設備システムの高効率化	4.6	0.50	-	-	4.6		
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価		3.0	0.15	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価		3.0	0.85	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.2		
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水		4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減		3.2	0.60	-	-	3.2		
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		4.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3		
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-		
1 消火剤		-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1		
1 地球温暖化への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5		
2 地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-	2.9		
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-		
2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		-	-	-	-	-		
1 騒音		-	-	-	-	-		
2 振動		-	-	-	-	-		
3 悪臭		-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.67	-	-	-		
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制		3.0	0.33	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-		
上記以外の重点項目								
<事務用途>								
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ ⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-	-		
<住宅用途>								
健康と安心								
1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心 ⑦防犯対策	1.0	-	-	-	-		